MA1203-C

CASIO

P

5195・5197＊JA

取扱説明書

保証書付

5195・5197

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
また、本機をご使用になる前には、安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

重要

- ご使用いただく前に、まずは時計の充電状態をご確認ください。

参照　充電状態の確認… P.12

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら時計を動かします。

→P.15

電波を受信して正確な時刻がわかります

送信所から発信される時刻情報を受信し、正確な時刻を表示します。

→P.19

秒針の位置を自動的に補正します

万一、強い磁気や衝撃を受けて秒針の表示位置がずれた場合、位置のずれを自動的に補正します。

→P.31

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。



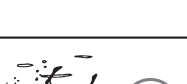
⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。



- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

この時計の特長 1

安全上のご注意 2

ご使用になる前に 8
- 本文中の記号について 8
- 各部の名称 8
- 文字板の表示について 10
- りゅうずの操作 11
- 充電状態の確認 12
- 時刻とカレンダーの確認 13

ソーラー充電について 15
- 充電の方法 15
- 充電状態の確認 16
- 充電必要度のめやす表示 16
- 充電時間のめやす 17
- パワーセービング機能 18

電波時計について 19
- 電波の受信範囲と条件 20
- 受信を行う場所 21
- 電波の受信方法 21
- 受信に関する注意事項 23

時刻とカレンダーの合わせ方 24
- 電波の受信場所の設定 24
- 時刻とカレンダーの手動合わせ 26

針のずれ補正 31
- 針のずれを手動で補正する 31

お困りのときは 34
- 針の動きと表示 34
- 充電 35
- 電波受信 35

製品仕様 37

ご使用上の注意 38

お手入れについて 41

本製品で使用している電池について 42

金属バンドの駒詰めについて 42

ご使用になる前に

本文中の記号について

注意：誤った使用方法によるケガや故障を防ぐための情報を記載しています。

重要：正しく使用するために必要な情報を記載しています。

参考：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

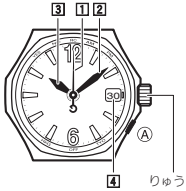
：詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称

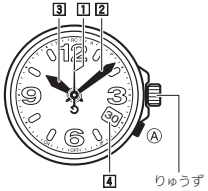
この時計の操作は、Ⓐ ボタンおよびりゅうずを使用します。また、各部の名称は次の通りです。

- 機種により形状は異なります（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）。

<モジュール5195>



<モジュール5197>



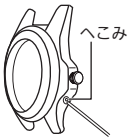
1 秒針
2 分針
3 時針
4 日付

参考

- この取扱説明書では針や表示を説明するために、図に記載した番号を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。

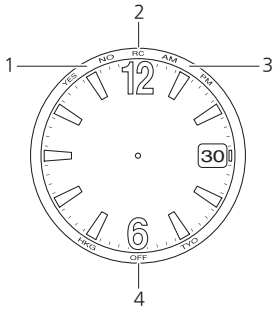
重要

- 製品により Ⓐ ボタンは誤動作を防ぐために、指で簡単に押せない構造になっています。先が細いものなどを使用して、ボタンのへこみ部分を押して操作してください。
- 本書ではわかりやすいよう Ⓐ ボタンを目立たせて表示しています。



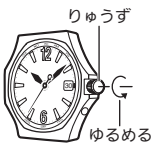
文字板の表示について

文字板の略語や文字は、以下を表します。



1. YES(Y)/NO(N):電波の受信結果
   YES(Y):成功
   NO(N):失敗
   受信結果を確認する…P.22
2. RC:電波受信中
   手動で電波を受信する…P.21
3. AM(A)/PM(P):時刻を合わせるときの午前と午後
   手動による時刻の合わせ方…P.26
4. HKG(CN)/OFF/TYO(JP):電波の受信場所
   受信場所と受信する電波…P.19

りゅうずの操作

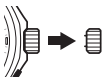
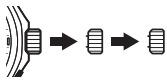


りゅうずがネジ込み式になっている（ネジロック式りゅうず）場合、りゅうずを使うときは、左回しにしてネジ込みをゆるめてください。
使い終わったら、りゅうずを軽く押しながらネジ込んでください。

重要

防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、操作が終わったら必ずネジ込みをしてください。

りゅうずは、2 段階に引けます（無理に引っ張らないでください）。

1 段引き	2 段引き
	
電波の受信場所の設定	時刻とカレンダー設定など

参考

りゅうずを 1 段引いた状態から戻すと、1 秒針が充電必要度のめやすを約 1 秒間表示します。

充電必要度のめやす表示…P.16

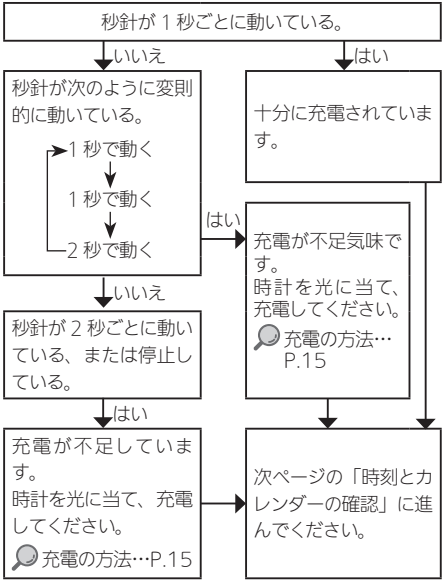
早送り／早戻し	解除
	
りゅうずを引いた状態で、くるくると 1 回転以上回すと、りゅうずを離しても自動的に早送り／早戻しされます	りゅうずを逆方向に回す、または Ⓐ ボタンを押します

参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。
- 早送り／早戻しは、時刻修正、針のずれ補正で使うことができます。

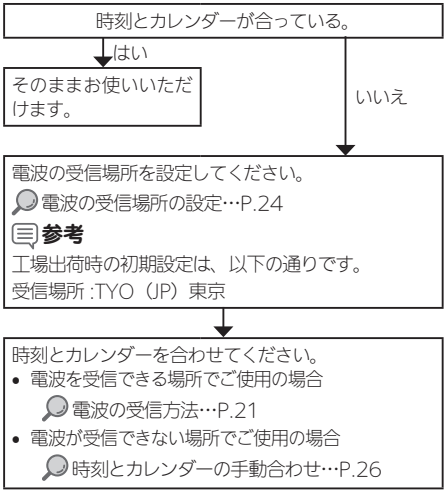
充電状態の確認

以下のチャートに従って、充電状態を確認してください。



時刻とカレンダーの確認

以下のチャートに従って、時刻とカレンダーの表示を確認してください。



重要

- この時計を主に日本以外の国で使用する場合は、電波の受信場所の設定を行ってください。
- 電波の受信場所を正しく設定しないと、電波受信を行わなかったり、受信しても正しい時刻を表示できなくなります。

ソーラー充電について

この時計は、ソーラーパネルによって発電した電気をバッテリー（二次電池）に充電しながら使用します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光が当たるように心がけてください。

充電の方法



時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1 ヵ月に 1 回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。



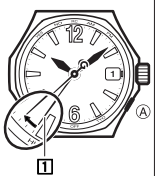
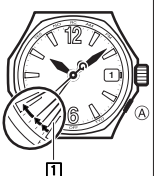
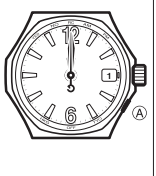
腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電量が低下します。

注意

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがありますので、火傷をしないように注意してください。
- 以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電状態の確認

バッテリー（二次電池）の充電状態は針の動きで確認します。充電不足になると使用できる機能が制限されるため、充電不足になったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて充電してください。

充電不足	充電不足気味	充電切れ
		
1 秒針が 2 秒ごとに動きます	1 秒針が次のように変則的に動きます 1 秒で動く→ 1 秒で動く→ 2 秒で動く	すべての針が 12 時位置で停止します

充電必要度のめやす表示

充電がどれくらい必要か、めやすを表示します。

充電必要度のめやすを表示する

●りゅうずを 1 段引きます。秒針がホーム都市を指したら、りゅうずを戻します。

- 1 秒針が充電必要度のめやすを約1秒間表示します。
- 他の操作中でも、りゅうずを 1 段引いた状態から戻したときに表示します。
- 光が当たらない状態が続くと、「充電必要度」が高くなります。
- ご使用状態によっては、「充電必要度」が低くても、充電不足となることがあります。その場合はすぐに充電してください。

充電状態の確認…P.16

＜充電必要度＞



充電時間のめやす

充電を行う際のめやすとして、下表をご活用ください。

1 日、使用するために必要な充電時間

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	8 分
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	30 分
曇り日の窓際など（5,000 ルクス）	48 分
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	8 時間

充電の回復に必要な時間

環境（照度）	充電切れから時計が動き出すまで	時計が動き出してから満充電まで
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	2 時間	25 時間
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	4 時間	93 時間
曇り日の窓際など（5,000 ルクス）	6 時間	151 時間
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	59 時間	—

参考

実際の充電時間は環境によって異なります。

パワーセービング機能

パワーセービング機能とは、時計を暗い場所に置いておくと自動的にスリープ状態になる節電機能です。

スリープ状態になるには

暗い場所に本機を 1 週間ほど置きます。

スリープ状態になると

- 時計表示は 12 時で停止します。
- 自動受信は行いません。
- 時計機能は正常に作動しています。

参考

- スリープ状態の解除は、以下の方法で行います。
  - ボタンまたはりゅうずを操作する。
  - 文字板（ソーラーパネル）に光を当てる。
- スリープ状態から通常の動作に戻るには、最大約 8 分かかることがあります。その間は何も操作ができません。
- 午前 6 時から午後 9 時 59 分の間はスリープ状態になりません。午前 6 時の時点で、すでにスリープ状態の場合はスリープ状態を維持します。

電波時計について

この時計は、送信所から発信される長波標準電波を受信し、正確な時刻とカレンダーを表示します。
電波を受信するためには受信場所を設定しておく必要があります。

電波の受信場所の設定…P.24

受信場所と受信する電波

受信場所 (受信機能対応都市)	受信可能地域	受信する電波
TYO(JP) 東京	日本	日本の標準電波(JJY)
HKG(CN) 香港	中国	中国の標準電波(BPC)
OFF	受信オフ	電波受信しない

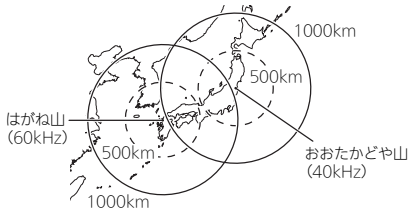
重要

電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻設定を行ってください。

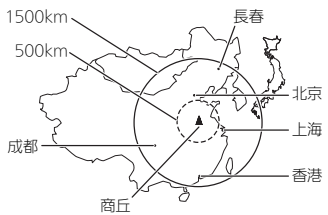
時刻とカレンダーの手動合わせ…P.26

電波の受信範囲と条件

<日本(JJY)>



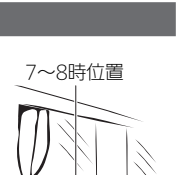
<中国(BPC)>



参考

- 電波の受信範囲内でも地形、天候、時期（季節）、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。
- この時計を使用する国と、電波を送信している国で、サマータイム制度の有無や実施期間などが異なる場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。
- 中国は 2010 年 12 月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後、この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

受信を行う場所



- 金属を避けて、時計の 7 〜 8 時位置を窓に向けて置いてください。電波を受信させている間は、なるべく時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。通常、夜間の方が電波受信しやすくなります。
- 以下の場所では、電波を受信しにくくなります。
  - ビルの中およびその周辺
  - 乗り物の中
  - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
  - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
  - 高圧線の近く
  - 山間部、山の裏側

電波の受信方法

受信方法には、決まった時刻に時計が自動的に受信する自動受信と、ボタン操作で受信する手動受信があります。受信には 3 〜 8 分かかりますが、状況によっては最大で 18 分かかる場合もあります。

自動的に電波を受信する

❶ 時計を受信しやすい場所に置いてください。

受信場所を、TYO（JP）東京に設定したときは午前 2・3・4 時に、HKG（CN）に設定したときは午前 1・2・3 時に、自動的に受信します。ただし 1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信を行いません。

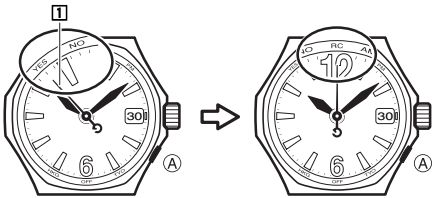
❷ 受信が成功すると自動的に時刻を修正します。

受信に失敗した場合は、時刻を修正しません。

手動で電波を受信する

❶ Ⓐ ボタンを 2 秒以上押し続けます。

1 秒針が前回の受信結果「YES」（Y）または、「NO」（N）を示した後「RC」（受信中）の位置に移動し、電波受信が開始されます。



参考

- 受信の状況が安定するまで、30 秒ほどかかる場合があります。
- 受信を中止したいときは、Ⓐ ボタンを押します。

❷ 受信に成功すると自動的に時刻を修正します。

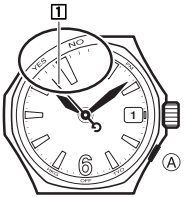
参考

受信を失敗した場合は、周辺の受信環境を確認の上、再度受信操作を行ってください。

受信を行う場所…P.21

受信結果を確認する

❶ Ⓐ ボタンを押すと、前回の受信結果を確認できます。



1 秒針の表示と受信結果

YES（Y）	受信成功
NO（N）	受信失敗

❷ Ⓐ ボタンを押す、または何も操作をしないまま約 5 秒経過すると時刻表示に戻ります。

参考

受信が成功していても、その後に手動で時刻やカレンダーを変更した場合は、1 秒針が「NO」(N) を示します。

受信に関する注意事項

- 正確な標準時を受信して時刻の修正を行っても、表示時刻に 1 秒未満の誤差を生じることがあります。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
  - 充電不足のとき
  - スリープ状態のとき
- 電波障害により誤った信号を受信した場合は、再度受信を行ってください。
- 電波受信による時刻の修正ができない場合の精度は、巻末の「製品仕様」の「精度」を参照してください。

製品仕様…P.37

時刻とカレンダーの合わせ方

この時計は、電波の受信場所を設定して電波を受信すれば、自動的に正しい時刻とカレンダーを表示します。

重要

電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻設定を行ってください。

時刻とカレンダーの手動合わせ…P.26

電波の受信場所の設定

この時計を使用する場所に合わせて、電波の受信場所を以下のように設定してください。

日本	TYO（JP）東京
中国	HKG（CN）香港
上記以外の地域	OFF（受信オフ）

受信場所を正しく設定しないと、電波を受信できる場所にいても受信できないほか、時刻を正しく表示しない原因になります。

受信場所と受信する電波…P.19

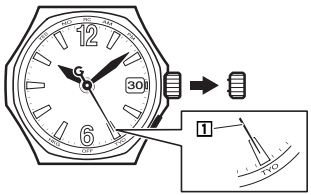
重要

日本で使用する場合は、受信場所を TYO（JP）東京に設定します。

電波の受信場所を確認する

❶りゅうずを 1 段引きます。

1 秒針が現在選択している受信場所を示します。



❷りゅうずを戻します。

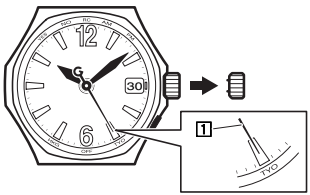
1 秒針が充電必要度のめやすを表示後、時刻を表示します。

充電必要度のめやす表示…P.16

電波の受信場所を変更する

❶りゅうずを 1 段引き、電波の受信場所セット状態にします。

1 秒針が現在選択している受信場所を示します。



❷りゅうずを回し、1 秒針を設定したい受信場所の位置に合わせます。

重要

りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

❸りゅうずを戻します。

1 秒針が充電必要度のめやすを表示後、時刻を表示します。

充電必要度のめやす表示…P.16

時刻とカレンダーの手動合わせ

電波受信できない地域で使用するときは、時刻とカレンダーを手動で合わせます。

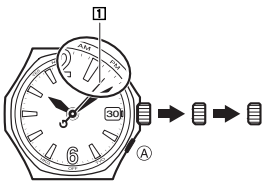
重要

電波受信できる地域で使用しているときは、電波受信による時刻とカレンダーの修正をおすすめします。

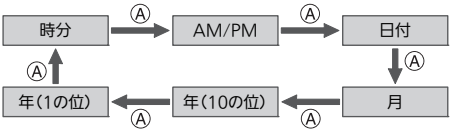
手動による時刻の合わせ方

❶りゅうずを 2 段引き、時刻の手動合わせ状態にします。

- 1 秒針が午前：AM（A）または午後：PM（P）に移動して止まります。



- 修正できる項目は、Ⓐ ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。



❷りゅうずを回し、時と分を合わせます。

参考

りゅうずの操作では早送り／早戻しもできます（最大 1 時間）。

りゅうずの操作…P.11

❸Ⓐ ボタンを押して、AM/PM セット状態にします。

1 秒針が AM（A）と PM（P）を行き来して、AM/PM セット状態になったことをお知らせします。

❹りゅうずを回し、AM/PM を合わせます。

引き続きカレンダーの調整を行う場合は、Ⓐ ボタンを押して「手動によるカレンダーの合わせ方」手順 3 から操作を行います。

手動によるカレンダーの合わせ方…P.28

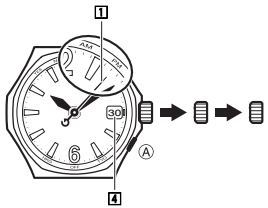
❺時報に合わせて、りゅうずを戻します。

1 秒針が 0 秒から動き始めます。

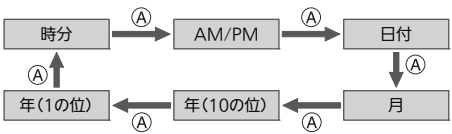
手動によるカレンダーの合わせ方

❶りゅうずを 2 段引きます。

- 1 秒針が午前：AM（A）または午後：PM（P）に移動して止まります。



- 修正できる項目は、Ⓐ ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。



❷Ⓐ ボタンを 2 回押して、日付セット状態にします。

1 秒針が、4 日付の下部に移動し、日付セット状態になったことをお知らせします。

❸りゅうずを回し、4 日付を設定します。

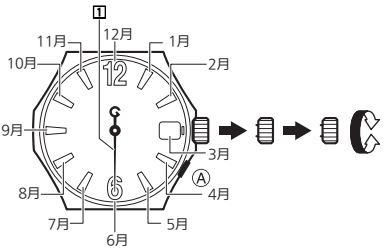
重要

日付は逆転できません。戻したいときは 1 カ月分進めて合わせてください。

❹ Ⓐ ボタンを押して月セット状態にします。

1 秒針が現在の月まで移動します。

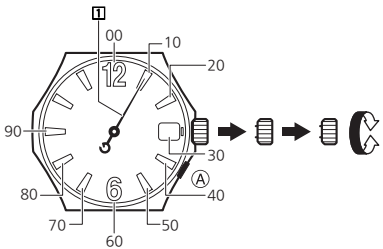
❺ りゅうずを回し、月を設定します。



❻ Ⓐ ボタンを押して、年（10 の位）セット状態にします。

1 秒針：西暦の 10 の位を表示します。

❼ りゅうずを回し、年（10 の位）を設定します。

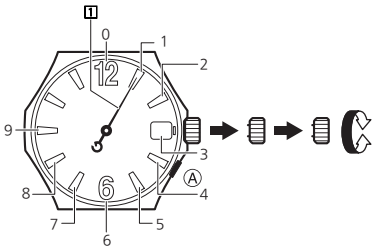


〈西暦の10の位〉

❽ Ⓐ ボタンを押して、年(1 の位)セット状態にします。

1 秒針 : 西暦の 1 の位を表示します。

❾ りゅうずを回し、年(1 の位)を設定します。



〈西暦の1の位〉

参考

引き続き時刻の調整を行う場合は、Ⓐ ボタンを押して「手動による時刻の合わせ方」手順 2 から操作を行います。

手動による時刻の合わせ方…P.26

❿ 時報に合わせて、りゅうずを戻します。

1 秒針が 0 秒から動き始めます。

参考

この時計のカレンダー機能は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています。

針のずれ補正

強い磁気や衝撃を受けると、針や日付の表示がずれることがあります。この状態では電波を受信しても正確な時刻が表示できなくなります。
この時計は、秒針が遅れた場合、自動的に補正します（秒針位置自動補正機能）。
次の場合は自動的に補正しません。手動で補正してください。

- 時針、分針、日付がずれた場合

針のずれを手動で補正する

重要
正しい時刻を表示しているときは、この操作を行う必要はありません。



❶りゅうずを 1 段引きます。

❷Ⓐ ボタンを 1 秒針が正時の位置（00 秒）に移動するまで（5 秒以上）押し続けます。

- ボタンを離すと 2 分針と 1 秒針が、正時の位置（00 分 00 秒）に移動します（最大約 1 分かかります）。
- 2 分針と 1 秒針が、正時の位置に停止した場合は、手順 5 に進みます。

❸ 正時位置のずれが± 15 分 00 秒以内の場合と、超える場合で、以後の操作が変わります。

- ± 15 分 00 秒以内の場合 : 手順 4、5、6 に進んでください。
- ± 15 分 00 秒を超える場合 : 手順 7、8、9、10 に進んでください。

±15分00秒以内の場合

❹ りゅうずを回し、1 秒針と 2 分針を正時の位置（00 分 00 秒）に合わせます。

りゅうずの操作では早送り／早戻しもできます（最大 15 分）。

りゅうずの操作…P.11

❺ Ⓐ ボタンを押し、日付の確認をします。

- 4 日付が 1 を表示し、1 秒針が、4 日付の下部に移動します（最大約 1 分半かかります）。
- 日付の 1 が中央からずれているときは、りゅうずを回して中央に合わせてください。
  りゅうずの操作では早送りもできます（最大 1 カ月）。

りゅうずの操作…P.11

❻ りゅうずを戻します。

- 針・日付のずれの補正を終わり、時刻表示に戻ります。時刻表示に戻るまで、最大約 10 分かかります。
- ± 15 分 00 秒以内のずれの場合、これで終わりです。

±15分00秒を超える場合

最初に日付の確認後に時刻の補正をします。

❼ Ⓐ ボタンを押し、日付の確認をします。

- 4 日付が 1 を表示し、1 秒針が、4 日付の下部に移動します（最大約 1 分半かかります）。
- 日付の 1 が中央からずれているときは、りゅうずを回して中央に合わせてください。
  りゅうずの操作では早送りもできます（最大 1 カ月）。

❽ Ⓐ ボタンを押します。

3 時針・2 分針・1 秒針が、正時の位置（00 時 00 分 00 秒）に移動します（最大約 10 分かかります）。

❾りゅうずを回し、時・分・秒を合わせます。

りゅうずの操作では早送り（最大 12 時間）／早戻し（最大 1 時間）もできます。

りゅうずの操作…P.11

❿りゅうずを戻します。

針・日付のずれの補正を終わり、時刻表示に戻ります。
時刻表示に戻るまで、最大約 10 分かかります。

参考

補正を中止したいときは、りゅうずを戻してください。
それまでに補正してある針は、補正された状態で時刻表示に戻ります。

針の動きと表示

状況	原因と対処
秒針が 1 秒→ 1 秒→ 2 秒と変則的に動いている。	充電が不足気味です。光に当てて充電してください。 充電の方法…P.15
秒針が 2 秒ごとに動いている。	充電が不足しています。光に当てて充電してください。 充電の方法…P.15
すべての針が 12 時位置で停止し、ボタン／りゅうずの操作ができない。	充電切れです。充電が回復するまで光を当ててください。 充電時間のめやす…P.17
突然、針の動きが速くなった。	以下が原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。 • スリープを解除し、復帰している。 パワーセービング機能…P.18 • 電波の自動受信により、時刻修正をしている。 電波の受信方法…P.21
りゅうずを回しても、何も操作ができない。	りゅうずを引いたまま 2 分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。 りゅうずの操作…P.11
針の動きが止まっている。	磁石などで針を完全に止められていた場合、針は停止状態になります。りゅうずを 1 段引くか、ボタンを押すと、動き出します。正しい時刻を表示していないときは、針のずれを補正してください。 針のずれを手動で補正する…P.31
現在時刻の表示が数時間ずれている。	電波の受信場所の設定が正しくありません。電波の受信場所の設定を確認してください。 電波の受信場所の設定…P.24
時刻と日付の表示位置がずれている。	強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。ずれの補正を行ってください。 針のずれ補正…P.31

充電

状況	原因と対処
光に当てても操作できない。	充電切れになると操作ができなくなります。充電が回復するまで光を当ててください。 充電時間のめやす…P.17

電波受信

この項目は、電波の受信場所を、TYO（JP）東京、HKG（CN）香港に設定している場合に該当します。

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない。 （受信結果が「NO」(N)になる）	電波受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 電波を受信させるときは、受信の場所に注意して、時計が受信をしやすい環境に置いてください。 受信を行う場所…P.21
	電波障害による受信の失敗。 周辺の環境を確認し、電波障害のない所で受信してください。 電波の受信範囲と条件…P.20
	送信所から電波が発信されていない可能性があります。 日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。 電波の受信範囲と条件…P.20

状況	原因と対処
電波が受信できない。	電波の受信場所の設定が正しくない可能性があります。 電波の受信場所の設定を確認してください。 電波の受信場所の設定…P.24
	充電が不足しています。 充電が不足すると受信できません。充電が回復するまで光を当ててください。 充電状態の確認…P.12

製品仕様

精　　度：電波受信による時刻修正が行えない場合は、平均月差± 15 秒以内

基 本 機 能：時・分・秒、日付（2000 ～ 2099 年までのフルオートカレンダー）

電波時計機能：自動受信・手動受信
受信結果確認機能
受信局自動選択機能（JJY で対応）
受信電波＝コールサイン：
JJY（40kHz/60kHz）、BPC（68.5kHz）
OFF：電波受信オフ

そ　の　他：秒針位置自動補正機能、パワーセービング機能

使 用 電 池：二次電池

持 続 時 間：約 5 ヵ月
（光に当てないで、1 日あたり電波受信 1 回（約 4 分）使用した場合）

ご使用上の注意

■防水性

●防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

●時計の表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。

●防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

●防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

●時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。

●時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■温度

●自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

●アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

●静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

●シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
●塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
●バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
●蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
●スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

●樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。

●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

●金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。

●バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

●抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。